

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

122-383

事務事業名	桐林勤労者福祉センター運営支援事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	産業経済部	課等名	産業振興支援課		包含する細々目	1	5	1	2	15	1	21,151
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	12 人材育成と企業、人材誘導											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等							
		事業期間		年度～								

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	飯田下伊那の勤労者 飯田下伊那の住民	勤労者の総数:人(公表値平成13年度)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする	
			85164	85164			
		飯田下伊那の人口:人(平成17年度国勢調査)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
			175533	175533			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	支障なく利用できる 福利厚生が図られる	利用者総数:人	18目標	60000	最終目標	65000	
			18実績	60727	19目標	60000	↑
			23目標	65000	23実績		最終目標達成年度
		講座利用者数:人	18目標	18500	最終目標	19000	
18実績			15691	19目標	18600	↑	
23目標			19000	23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	講座運営業務、施設管理業務の委託 <参考>細々目名:桐林勤労者福祉センター管理費	(財)飯田勤労者共済会が指定管理者の指定を受けて管理実施 講座の運営についても(財)飯田勤労者共済会が実施 管理責任者1名、営繕担当1名、受付管理業務担当1名で実施	会館日数:日 開設講座数:講座	307 24
	18年度の実績			
	19年度計画	(財)飯田勤労者共済会が指定管理者の指定を受けて管理実施(指定平成20年度まで) 講座の運営についても(財)飯田勤労者共済会が実施 管理責任者1名、営繕担当1名、受付管理業務担当1名で実施	会館日数:日 開設講座数:講座	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	0	
	一般財源	21,582	21,151
事業費計(A)	21,582	21,151	
人件費	正規職員所要時間	18年度 20	19年度 20
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	72	72
	トータルコストA+B	21,654	21,223

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	ゆとりある生活の実現	ゆとりある生活が送れていると感じる住民の数:人 (アンケートが必要)	現状値		19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>・勤労者及び竜丘地区住民の勤労者福祉施設建設の要望により、平成元年に雇用促進事業団により建設</p> <p>・平成16年、雇用促進協会からの譲渡により飯田市所有となる。</p> <p>・平成16年4月1日より平成21年3月31日までの5年間、飯田市が(財)飯田勤労者共済会を指定管理者として指定して管理実施</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>温水プールが併設されているが、圏域住民が低料金で利用できる温水プールは増えている。民間を含めて各種講座が実施されている。</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <p>場所的な不便さや、交通アクセスの悪さが指摘されている。浴場や施設の改善が要望されている。</p>
--	--	--

【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	<p>(評価) 結びつく (その理由)</p> <p>圏域住民が気軽に利用できる施設が必要である</p>	有効性評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	<p>(評価) 余地がある (その理由)</p> <p>管理運営体制を検討する中で、施設の利用をいっそう充実させる</p>
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	<p>(評価) 必要性がない (その理由)</p> <p>施設の利用に関しては、全ての市民および圏域住民に開放している</p>		廃止・休止した場合の影響はありますか？	<p>(評価) 影響あり (その理由)</p> <p>一定の利用がある市有施設の管理ができなくなる</p>
	意図の見直しの必要性はありますか？	<p>(評価) 必要性がある (その理由)</p> <p>勤労者福祉施設としての位置づけであるが、広く市の施設としたとき、現在の管理運営でよいか</p>		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	<p>(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)</p> <p>類似施設はあるが、それぞれの役割と一定の利用がある。</p>
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	<p>(評価) 必要ある (その理由)</p> <p>現在の利用料では管理費がまかなえない</p>		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	<p>(評価) 不可能 (その理由)</p> <p>市職員の人件費はほとんどない 運営委託費は必要最低限である</p>
			公平性評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	<p>(評価) 妥当でない (受益者とその理由)</p> <p>圏域住民が対象であり、利用料金を徴収しているが、浴場利用者については無料であるので、利用料徴収の検討は必要である</p>

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 休止</p> <p><input type="checkbox"/> 目的見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 別事業に統合</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 具体化</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>平成20年度までは指定管理者制度により(財)飯田勤労者共済会が管理実施 平成21年度以降についての管理主体の検討実施</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p> <p>指定管理者の選定</p>
---	--

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	